



住みやすい町を目指して...②7

町の観光スポット・寄ロウバイ園

寄ロウバイまつり実行委員会委員長 大舘 達治 (宇津茂在住)

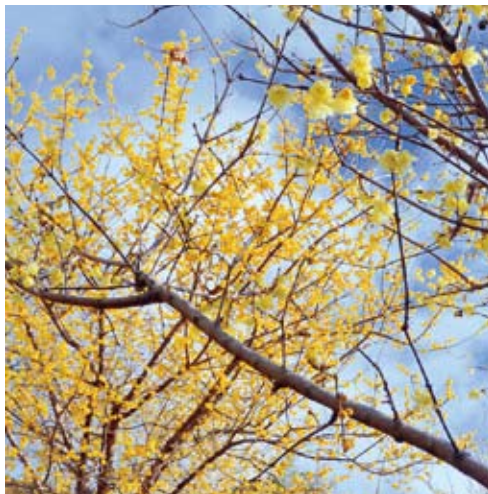
寄ロウバイ園は、松田町寄宇津茂地区に位置し、富士急湘南バス寄バス停より約10分の見晴らしの良い場所にあります。現在、約1,500株、1万本のロウバイが植えてありますが、毎年1月上旬より2月末日まで、甘い香りが漂います。これほど多くのロウバイを鑑賞できる場所は、ここ寄ロウバイ園の他に近隣にはありません。

寄ロウバイ園整備事業の経緯

平成17年に荒廃地対策及び寄地域の発展を図ることを目的として、宇津茂地区の有志の方々が荒廃農地を開墾し、最初はナタネを播種しました。そして次の年の平成18年2月に、寄中学校3年生が卒業記念に、ソシンロウバイを植樹したのが、ロウバイ園の始まりです。

このロウバイ園は、多くの地主さんより無償で土地を提供していただき、年3～4回の草刈りを宇津茂生産森林組合のメンバーで実施しています。

まつりやその他の催し物は、宇津茂ロウバイ部会のメンバー16名（男女各8名）で取り組んでいます。毎年1月初旬より開催されるロウバイまつりを初め、5月の若葉まつり、11月の産業まつりと精力的に参加しています。



黄色一色に染まるロウバイ園 (平成28年1月)

来春は1月14日から2月12日を予定

6回目の寄ロウバイまつりは、平成29年1月14日から2月12日を予定しておりますので、皆様のご来園をお待ちしております。

今回で6回目を迎えるロウバイまつりですが、最初の1回から2回目までは、ロウバイ部会の主催で簡単なテントで実施していました。

3回目からは松田町主催となり、ロウバイ園に休憩施設を設置していただきましたので、その施設の中で、ロウバイ部会の女性メンバー8名で食堂を開き、地元で採れた野菜を主にして手作り料理の「おもてなし」をしています。売店では、手作り食品として各種佃煮、コンニャク、オレンジピール、ロウバイ染め製品、ロウバイの苗木と切り枝、各種地元野菜を販売し

ています。まつり期間は、1か月以上実施し入園者数も年々増えて、今では1万5千人以上の来園者数となってきました。寄を町の観光地として盛り上げていくためにも、桜やロウバイなど四季折々の花と共に町内外に広く周知し、松田町を訪れて、素晴らしい思い出の地となり再び訪れていただけますよう、おもてなしの心で来園者を迎えたいと思います。

※「住みやすい町を目指して」活動されている方や団体が、このコーナーに掲載を希望される場合は下段までご連絡ください。

皆さんの傍聴をお待ちしています! 第4回定例会は12月6日(火)開会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議会広報広聴常任委員会
石内	中野	南雲	井上	田代	利根川	
浩	博	ま	栄	実	茂	
		子	一			

厳しい残暑も過ぎ去り、いつしか晩秋の気配を色濃くし、松田町の財産でもあります豊かな大自然を改めて感じ取れる季節となりました。9月の議会定例会は、決算議会とも称されます。年度初めに編成された予算に対し、適正・的確に執行され、それがどのように町民サービスにつながったのかを、細部にわたって精査するものです。今後もあり得る財政・皆様方からお預かりしました大切な町税の最大有効活用を目指し、住み良い町づくりの実現に向けて、取り組んでまいります。(中野)

